

No.	質問	回答	種類
1	<p>・CAT停止後、各館で一斉に登録が始まると想定されるのですが、重複書誌と判断された場合は統合するような所作がありますでしょうか。</p> <p>・停止期間明けに各館の一斉登録によって並立書誌がこれまで以上に作成されることが考えられますが、並立書誌・重複書誌の判断基準は従来通りになるでしょうか。</p>	<p>新NACSIS-CAT/ILLのシステムリプレイスは運用変更を行いませんので、並立書誌・重複書誌の判断基準は従来通りとなります。また、重複書誌と判断された場合、データを統合するような機能につきましても調整しています。しかし、ご質問のとおり一斉登録では重複や並立が生じやすくなる恐れがありますので、登録作業前に各参加館にて、慎重に書誌データの同定、添削作業をいただくよう、ご協力をお願いいたします。</p>	CAT
2	<p>所蔵レコード一括更新の再開時期が未定とのことですが、再開後はすぐに対応していただけるのでしょうか。更新を依頼しても、かなり待たされる可能性はあるのでしょうか。</p>	<p>所蔵レコード一括更新は、現在調整中です。最新情報は以下にてお知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。  <a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara">https://contents.nii.ac.jp/korekara</a></p>	CAT
3	<p>1月31日(火)9時より利用可能とのこと、万が一再開が遅れる場合についての確認です。この場合雇用や勤務の関係があるため、少なくとも2-3日前にはアナウンスいただけますでしょうか。</p>	<p>再開スケジュールに変更がある場合は、迅速にアナウンスを行うようにいたします。</p>	CAT
4	<p>新NACSIS-CAT/ILL移行後の書誌データにつきまして質問です。新システム"内部"で保持されるMARC21準拠データはどのような形になるのか、どこかで示されますでしょうか。当館ではMARC21も扱っておりますので、参照できるとありがたく思います。</p>	<p>新NACSIS-CAT/ILL内部で保持されるMARC21準拠データは現在調整中です。公開可能な資料が整いましたら、以下にて公開します。  <a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara">https://contents.nii.ac.jp/korekara</a></p>	CAT
5	<p>・ILLの処理につきまして、停止期間中に途中となるデータの発生ないよう対応するには、状態遷移図のどの段階まで終わらせていけばよろしいでしょうか。</p> <p>・NACSIS-ILL停止前に貸借の受付をして貸出し、再開後に返却処理をすることは可能でしょうか。処理に不具合が出るようであれば、貸借の受付停止日を早めなければならないと考えています。</p>	<p>ILLの移行データは、処理途中のものも欠損なく移行する予定です。再開後に返却処理を行うことも可能です。しかし、途中となるデータの発生がないよう対応される場合は、2023年1月10日時点で、「返却確認」となるよう運用をご検討ください。</p>	ILL
6	<p>・NACSIS-ILLの停止期間中のILLですが、1) NACSIS-ILLを通さずメール等で受付館に依頼 2) 運用再開後に依頼データをNACSIS-ILLで送受して相殺処理のようにすることは可能でしょうか。可能な場合、参加組織情報に「停止期間中も対応可」であることがわかるよう、記載をしたいと考えています。</p> <p>・NACSIS-ILL停止期間中は、システムを通さず直接メールやFAX等での依頼を検討をお願いしたいのご説明でした。直接依頼の支払いについては、相殺処理の対象外になるということでしょうか。またその場合、支払いについては依頼先から指定された方法での支払いになりますでしょうか。</p> <p>・先ほどILLの支払いに関して、依頼館と受付館の合意の上、実際の受け取りは別で管理を徹底した上でILL複写を受け付け・送付後にデータのみ新規のやり取りとして決裁のみに利用することを目的として使用することは問題ないでしょうか。</p>	<p>停止期間中のILLについて、NACSIS-ILLを通さずメール等で受付館に依頼等をいただく場合、支払いについては、依頼館と受付館の合意の取れた方法で進めていただくことを想定しています。</p> <p>停止期間中にNACSIS-ILLを通さず依頼されたILLを、運用再開後に相殺処理として処理することは、NIIでは検討の結果、会計処理上や誤入力等の人的ミスなどの懸念、各図書館システムの過去日が登録できないといった機能面での制約等から推奨しないこととしました。</p> <p>しかし、依頼館と受付館で十分な合意があり、管理を徹底して対応される場合、NII側でシステム上の制約を設けることはいたしませんので、最終的なご判断は、各参加館にてお願いできればと存じます。</p>	ILL
7	<p>WebUIPは1月22日まで使用可能のご説明がありました。参加組織メンテナンスに関しては、1月10日にて停止し、WebUIPからも編集はできない(具体的には、フラグの上げ下げはできない)という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>WebUIPは、2023年1月22日まで使用可能ですが、業務用サーバを利用する場合は、業務用サーバの停止スケジュールと同期するため、参加組織等の更新等、検索・表示(SEARCH、SCAN、RETRIEVE、INDEXLISTメソッド)以外の動作は、2023年1月10日に停止します。WebUIPからも編集はできません。</p>	MEMBER

No.	質問	回答	種類
8	<p>・ILL停止期間につきまして、1/10~MEMBERの更新が不可ということ、登録館情報については1/10以前に修正しておくべきなのでしょうか。</p> <p>・停止期間中は、参加組織情報も参照できないのでしょうか。直前の情報を、どこかに格納して参照できるような対応は検討されていますか。</p> <p>・CiNiiで参加館情報を参照し、ILLの直接依頼・受付を検討との説明がありましたが、CiNiiは一般の方も参照できるため、ILL用のメールアドレスを公開するのは支障がある館もあるかと思えます。先の質問と重複しますが、別途参加組織情報が参照できる一覧などをご提供頂けないでしょうか。</p> <p>・停止期間中も教育用サーバは使用可能とのことですが、参加組織情報だけでも停止直前の情報にアップデートいただけると停止期間中の代用として利用できるのではないかと思います。</p> <p>・NACSIS-ILLの停止期間中のILLについてQ&amp;A上では様々なアイデアが出ていますが、対応可能な組織と対応方法をどこで確認したらよいか、参照先についてNIIから統一的な見解をいただけたら助かります。</p>	<p>参加組織情報(MEMBER)も、2023年1月10日(火)0:00から更新不可となるため、サービスステータスの更新は、それまでにご対応をお願いいたします。</p> <p>2023年1月23日(月)0:00~1月31日(火)9:00の検索・表示も含めた停止期間中の、参加組織情報については、対応を検討し、公開可能な情報が整いましたら、以下にてお知らせします。</p> <p><a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara">https://contents.nii.ac.jp/korekara</a></p>	MEMBER
9	電子リソースデータ共有サービスについて、「国外」出版社のJUSTICE提案以外のデータ共有はいつ頃を予定されていますでしょうか。また、将来的には紙媒体のCAT/ILLと同じようなことができるサービスを想定されているのでしょうか。	<p>現段階では、JUSTICEからの提供データと、紀伊國屋書店、丸善雄松堂と電子ブックに関連するデータの調整を進めています。また、openBDから取得されるデータの解析や複数の出版社に対するヒアリング等を行っています。今後も国内外の多様な種類のデータが充実するよう、調整を進めてまいりますので、サービス内容も含め、最新情報は電子リソースデータ共有サービスのページ(<a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources">https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources</a>)でお知らせします。</p>	電子
10	国内電子ブックメタデータは統一フォーマットでの提供を検討されている、とのことでしたが、例えばMARC21のみでの提供になるということでしょうか。新NACSIS-CAT/ILLシステムと同じく、MARC21データをCATP接続で提供、という形は考えられておりますでしょうか。	<p>ありがとうございます。フォーマットなどの提供形式につきましては、いただいたご意見も踏まえ、検討してまいります。最新情報は電子リソースデータ共有サービスのページ(<a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources">https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources</a>)でお知らせします。</p>	電子
11	<p>・JUSTICE提案書によるライセンス等の電子リソースデータの提供はJUSTICE参加館のみが享受できるというのは了解しましたが、JUSTICE提案書以外の電子リソースデータの提供はJUSTICE参加館以外も利用できるのでしょうか。</p> <p>・ライセンス情報ですが、電子リソース共有サービスを利用できる館は、リンクで利用できますが、それ以外の館は、独自にOPACやHP等で掲載することは可能でしたでしょうか。</p>	<p>電子リソースデータ共有サービスの5つのデータ種別のうち、「ライセンス(JUSTICE)」はJUSTICE会員館限定ですが、それ以外の「ERDB-JP」、「タイトルリスト(JUSTICE)」、「ライセンス(公開)」、「電子ブックメタデータ(国内)」はJUSTICE会員館以外も利用いただけるように検討しています。現在運用中のものは「ERDB-JP」のみですが、他のものも運用を開始しましたら、ぜひご利用いただけますと幸いです。</p>	電子
12	タイトルリスト(JUSTICE)のテスト公開のURLを教えてください。テスト公開の通知等をいただいている(と思う)のですが、これからでしょうか。	<p>現在「ライセンス(JUSTICE)」をテスト公開中ですが、「タイトルリスト(JUSTICE)」についてはテスト公開をしておりません。データが準備できましたら公開予定ですので、今しばらくお待ちください。</p>	電子
13	JUSTICE提案書による電子リソースデータ(ライセンス)の情報を大学のOPACで利用者に公開できるようになるとのことですが、学内利用者のみに公開となるのでしょうか。学外の利用者もライセンス情報(ILLの可否やwalk-in-userの利用の可否)を見ることができると、ILLの依頼のときに大変助かるのですが。	<p>「ライセンス(JUSTICE)」の公開可否の項目については、学外者であっても、その図書館の利用者であれば公開して良いか、という条件で版元に選択いただいているものですので、「公開可」となっているものは、学外の利用者に対しても公開可能です。</p>	電子
14	電子リソースデータ共有サービスのライセンスJUSTICE、タイトルリストJUSTICEで提供されるデータは理解しました。ダウンロードデータを図書館側で利用する際の作業手順、どのように便利になるか具体的に想定できません。データに対応可能なOPACやディスカバリを契約していない施設で利用者へ情報提供方法はありますか？	<p>様々なデータの利用方法について、一緒に検討できたらと考えています。今後、活用事例がありましたら、電子リソースデータ共有サービスのページ(<a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources">https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources</a>)でご紹介いたします。</p>	電子

No.	質問	回答	種類
15	<p>電子リソースデータ共有サービスについてです。JUSTICE提案以外ですと、特定キャンパス限定での契約のものもあります。優先順位/実現可能性は低いかもしれませんが、利用範囲がわかりやすいといいなと思いました。今のデータですと「サイト定義」項目あるいはアグリーメント内の話で表に出てこない形になりますかね。</p>	<p>「ライセンス項目一覧（テスト公開用）」（<a href="https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-03/e-resources_license-terms.pdf">https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-03/e-resources_license-terms.pdf</a>）から引き続き、本公開でも、「サイトの定義」は項目の一つとして共有する予定です。</p> <p>他にも、必要な項目など、ご意見がございましたらフィードバック（<a href="https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/feedback">https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/feedback</a>）よりご意見をいただけますと幸いです。</p>	電子
16	<p>・電子リソースデータベースを利用できるとのことですが、これまでNACSIS-CATに電子の書誌を登録することもあったのですが、そちらはこれまで同様継続すればよいのでしょうか。又は電子リソースデータベースを利用する流れになるのでしょうか。</p> <p>・NACSIS-CATに登録した電子の書誌を電子リソース共有サービスでも利用頂けるということは今後あるのでしょうか。</p>	<p>電子リソースデータ共有サービスは、現在のところ、電子リソースの管理や検索等に必要データを、NIIがまとめて取得し、各館に提供して、ローカルで使用いただく形のサービスです。</p> <p>電子リソースデータ共有サービスに各館の情報を登録していただく機能がなく、また、新NACSIS-CAT/ILLのシステムリプレイスは、運用変更を行わないため、当面の間、新NACSIS-CAT/ILLでの電子の書誌データの取り扱いを継続します。</p> <p>しかし、NACSIS-CATに登録した電子の書誌データの電子リソースデータ共有サービス上での利用も含め、今後は、共同利用システムの構成を前提とした、運用を整理する必要があると考えます。</p>	電子・CAT